

令和2年7月11日（土）開催

第2回多度地区小中一貫校地域協議会（講演会） 感想用紙集約

【 講演を聴いて、今の学校と比べて新しく気がついたことはありますか 】

- 今までの形にこだわらず、新しい形。子ども、教員、地域みんなが気持ちよく使える例を教えてください、分かりやすく楽しい話でした。
- 今までの学校様式とは違う使いやすさ、楽しく、自由に過ごせる場所。多機能のスペースを作ることは難しい。今ある学校の当たり前を考え直す。
- 小さなスペースや隠れ家のような場所は子どもの安心・リラックスできる場所として大賛成。あらゆるところにカギがかかり、教室以外に居場所を見つけられないのは苦しい。
- 標準設計（今までの学校）ではなくて、もっと自由に考えていいのだと分かりました。写真などで新しい学校を見ることはあっても、自分たち（学校の先生だけでなく、地域の人など）が考えたことや意見をもとに設計されているのがよくわかりました。
- いかにも今の小学校の施設が古く、効率的ではないのがよく分かった。同時に新しい形の小学校の良さが分かり、そうなるべきというのもよくわかりました。
- いろいろな考え方があると思った。自然を生かした学校づくりは面白いが、多くの人数になったときにどうなるのかと思った。
- 子どもたちが今以上に交流することで、思いやりの心が持てそうな？気がする。
- 工夫次第で様々なスペースが生まれてくるのだなあと思った。豊田市浄水地区の「地域共働本部」のようなスペースがあるといいです。
- 一番印象深かったのは、最近建てられた学校の清潔なトイレ、レストランのようなランチルーム、教室、小さな空間のある明るい学校の姿でした。かべのない教室やレストランのようなランチルーム、かくれ家のような遊び場、こんな素敵な学校が多度にできたら素晴らしいと思います。
- 今までの当たり前がそうではない新しいスタンダードが必要。そのためには「知る」ことが必要だと思いました。今の学校は「子どものため」「子ども中心」になっているかということ、そうではないと思いました。
- 当たり前を再考し、分ける、使わせないではなく、共有したら、使えるようにしたらどうなるかを考えることは大切だと思いました。
- 当たり前に思っていることから考え直す必要があることに気づきました。新しい視点で考えてみます。
- 地域との連携の視点がこれほど強くすすめられていることを初めて知りました。
- 1つの空間を1つの使い方に固定するのではなく、多目的に使うということがこれからのキーワードだと思った。ゼロエネルギーを目指す学校もこれからの時代に必要だと思った。
- 今の学校とは違うところが多いなと感じました。しかし、簡単に「新しい仕組み」にとびつくのも少し怖く感じます。課題も教えてください。
- 写真の子どもたちがとても明るく楽しそうな表情をしていました。今の学校と比べて勉強が楽しくなるような場所、落ち着く空間がある学校なのだろうと思いました。

- 既存の学校ではなく、コロナのこと、性的マイノリティのこと、多様性のある学び方の在り方について、未来の学校に関わる子どもたち、保護者、先生、地域の方、全ての方に今日の内容をきいていただいた上で、新たな学校づくりに取り組んでいけたらと強く感じました。主人の不在は心が痛みます。
- オープンスペースなど、仕切りのない空間は良いなど。
- 日常の動線において、図書館と関わるのは良いと思う。
- 合理的な建物（学校）ができる。
- 他の状況、例を聞いてよかった。何をこれから自分として力になれるかを考えさせられる参考になった。
- いろんな新しい学校があり参考になった。
- 確かに子どもたちの情報量は増えていますが、体験する回数は減っている。今後、表現する力、コミュニケーション能力を高めるためにも、人と接する場「学校」を根本的に新たな視点で見直していきたいと感じた。
- ソフトとハードの一体の大切さを改めて感じました。教師目線、特に女性目線での建築が重要であると感じました。
- 施設を見ていると、なんか夢があり、発想も豊かになりそう。
- オープン、共有していくことの良さ、図書館のいろいろな作り方が興味深かったです。見守る人の数やかかるお金も考えていきたい。
- 新たな学びを実現するための施設、設備の重要性。地域共働本部の設置。
- 子どもたちのスペースを確保する大切さを感じました。校舎作りには豊田市の事例を参考に建設してほしいと思います。
- 博多小学校の在り方は子ども、先生にとってもいいなと思いました。今でもある先生によって学習の差もなくなるでしょうし、いじめに関してもたくさんの目で見えていただけるような感じがします。各地の学校が子どもたちの生活、学びを考えた校舎に変わっていったらいいと思う。地域共働本部の設置はいいと思う。直接のやりとりはやはり難しいと思う。
- 多岐にわたって考えていかねばならない。多様性の社会に柔軟に対応できる学校づくりが求められる。
- 全国一律どこに行っても学校とすぐわかる建築物、これは変えたいと思いました。
- 予算をかけて素晴らしいものをつくれば…。
- 校舎内の小部屋やちょっとしたスペースは本当に必要だと思う。また、多くの非常勤のスタッフの居場所は現在困っているので、新たな学校には是非ほしい。

【 講演を聴いて、疑問に感じたこと、分かりにくかったことはありますか 】

- 小学校を統合して新しい形にすることのすばらしさはよくわかったが、小中一貫にする面の良さは実感できなかった。地域との交流についてはいいと思います。
- 学校をつくるまでの流れなどは分かったが、その後の大人や子どもたちが、どのように感じているかも聞くことができればとも思いました。
- 木造建築の見直しということで、ウッドデッキは風雨にさらされ劣化がひどくなります。常にケアが必要になります。木造というよりは「木」ではないが100年耐久のウッド風素材のようなものを指しているのでしょうか。
- 目からうろこのことがたくさんでした。
- 予算（建築費用）はどうだろうか…。
- 新しいスタイルの学校で勤務している先生や子どもの声を具体的に知りたいと思いました。（いいところ、困っているところ）
- 特にありません。とても分かりやすかったです。
- まだ、面積など土地の大きさも分からないので？
- 教室が壁で囲まれていると壁の外で物音が聞こえるとすごい気になるが、壁がないとそういう音は気にならなくなるのかなと思った。
- 施設が立派で地域にも多く開設するとなる時、清掃することが大変かと思いました。外部、それこそボランティアに依頼することもあるのでしょうか？
- 後半の事例がもっと聞きたかった。
- 建設後には工事することなくスペースのレイアウト変更できるようにしてほしい。
- 自分が過ごした小中学校の建物や作りの違いに関心を持ちました。ただ今回「小中一貫校」なので、全国の一貫校の校舎や授業内容、児童や生徒がどのように関わっているのか知りたかったです。
- 特別教室を使っていない時間、地域の方々が使用できるのはとてもいいと思います。その一方で警備の面はどうしていくのか？監視カメラだらけの学校になってしまうと、子どもたちに影響がないか？
- 新しい学校のあり方を示していただきありがたかった。
- 時間の限りがあり、先生の知見を聞くには短いではと思った。
- 小中一貫校の必要性。

【 子どもたちのために、多度地区小中一貫校に期待することはありますか 】

- ひとりひとりの個性を活かした教育。地域の特性（自然・農業等）を活かした教育。
- ICT支援員・学校司書・外国語指導補助・部活動、本当に専門スタッフを常駐させてほしい。学習＋家庭対応までして疲弊している。
- 親世代（40代）で今までの学校のイメージしかなく、建築教育を仕事にしていないのですが、「どんな学校がいいですか」と聞かれても、意見も答えも出しづらいと思います。ですから、関心のない人は多いのではないですか。まず、子どもたちに意見を聞いてみてはどうですか。夏休みの宿題でアイデアをかいてもらうなどして、親世代を巻き込んで少しでも、盛り上げていかれてはどうでしょうか。
- 小中一貫というより小学校統合には期待しています。
- 話しの中にあつたように、大人だけで検討するだけでなく、子どもたちの意見は、どうなのかも聞いてみたいと思いました。
- 今のところ思いつかない。
- 「子どもたちのために」このワードが大切で、今日の講演によって何が子どもたちのためになるのか学びました。今の現状で、今までの当たり前から抜け出せない頭ではなかなか考えられなかったです。
- 地域の中に生きる学校として、地域の願いに応えられる学校施設になることを期待しています。
- 傾斜地の有効利用とセキュリティ面の不安をのりこえて、地域との連携が感じられる、地域と共に学ぶ、育つ学校になるとよいと思う。
- 子どもたちにとって居心地のよいものになることが大切だと思います。
- どの子どもも落ちついて学習に取り組むことができる学校（特別支援を必要とする子どもにとっても、楽しく学べる学校になることを期待しています。）
- 子ども達が一番活動しやすい空間など。
- 外での授業など開放的な学校生活を期待する。
- 新しい地域づくりがもめられる？
- やはり不登校の児童が少しでも減って、楽しい学校にしていってほしいと思う。
- 子ども達が勉強する上で、良い環境、又、これからはエコに対する学校をめざしてほしい。
- 今の様な時代になっています。教育活動は第一ですが、自然災害に強い、いざという時には地域の拠点となれる施設をお願いしたいです。
- 多度の子ども達のための学校づくりを目指してほしい。児童数減に対しての対応やカリキュラムをつくることないようにしてほしい。
- 多度の自然が活かせる面白い学校。エネルギーや環境への配慮。
- 通学路の安全性の確保を期待します。
- いろいろな学校の良い所を取り入れつつ、多度らしい学校で過ごしてくれる事を願うばかりです。
- よりよい環境で子ども達が学校へ行きたくなる環境にして頂きたい。一貫校が開設されると不安になる子も多いと思います。心のケアが非常に重要だと思います。スクールカウンセラ

ーなど相談しやすい環境はしっかりと整えてほしい。いつでも相談に行ける個室は多く設置してほしい。

- 子どもたちが誇りに思う学校（ソフト面もハード面も）づくりをめざして欲しい。
- 子どもの教育環境が優先的に検討されることを希望します。
- 「子どもの視点にたった」、「地域のシンボル、拠り所となる」を大切に作っていく必要があるのでは。
- 子ども、保護者、地域が笑顔になれる学校づくりを大事にしたい。現在のいわゆる「中一ギャップ」を何とか解消したい。

【 その他、ご感想等あればご記入ください 】

- ただ、設計に入るまでの取り組みが大事と話されました。全くその通りだと。この話にいくまでの住民へのおろし方、ワークショップを何回も聞き、その対応にやはり疑問を持っている人が多いのが現状。それをこえないで、強引に進めてはいけないと思います。
- PTAをなくす！！ぜひ、そうしてほしい。
- 先生のお話は、何も知らない私でも聞きやすかったです。家で調べてみようと思います。
- 色々とすばらしい事例を出していただきましたが、それぞれいくらかかっているのでしょうか？桑名市にいくらの予算があり、桑名市ならどのような形ならできるのかがわからないと次に進めないと。※2000万円の予算で家を買おうとしている人に、5000万円、1億のモデルルームをみせても無意味。
- 特別教室を地域の生涯学習に使用したり、老人の方々と交流ができればすばらしいと思います。
- 読書活動の推進といっても今の図書室では難しいと感じていました。環境を整えることで、学習意欲、主体性が高まっていくと思います。子どもたちにとって”よい”小中一貫校を建設したいと強く思います。
- 今日見せていただいたものを取り入れられたらすてきだなと思いますが、どんな学校にしたいのか、市の考えを知りたいですし、地域の声をしっかり聴いてほしいと思います。職員として考えられることは、市の考えや地域の声をもとにしていきたいと思います。
- 5年間の流れ（学校現場での）が知りたい。子どもに小中一貫校のあり方を聞くというのは、今年度、来年度あたりにすべきことだと思うが、そのような流れが現場にないこと。
- 名札の名前の漢字がまちがっていました。
- 色々な学校の中の様子分かりました。勉強になりました。
- 先生にも心地よいスペースを。
- また講演を聞きたい。
- 協議会やワークショップ等の準備、ごくろうさまです。
- 設備などに関して、子どものためにならということとで教員のための施設の充実をけずることにすすむことが多いが、これからは同じレベルで教職員がくつろげ、気分が開放的になるような施設を作ってほしい。

- いろいろな新しい考えを出し合い、話し合えるといいと思う。人とお金。。なんとか良い方向へ。
- 多様な事例を紹介いただき、多度の小中一貫校に対する期待や希望が大きくなりました。
- 小学生は今まで通り校外学習を多くしてほしい。多度東小学校の良い所です。
- 閉鎖的より開放的！子供達の事はもちろん一番ですが、先生方の働く環境が改善されると心のよゆうが出て、よりよい学校環境になると思います。開放的な木造建築が望ましい（せっかく多度町につくるのであれば！！）
- 基本的な新設学校のイメージ図などを早く作れるとよいと思います。
- 多度で小中一貫校施設一体型の必要性がわからない。